



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284

URL: http://www.nbr.co.jp/

NBRで実施可能な刺激性試験のご紹介

皮膚刺激

ウサギ、ミニブタ、モルモットを用います。健全皮膚および損傷皮膚を用い、経皮投与(閉塞または開放)ののち紅斑および浮腫の皮膚反応をについて観察します。一次刺激性試験のほか、14日間または28日間の累積刺激性試験があります。

眼粘膜刺激

ウサギを用います。液剤、軟膏剤、粉末などを点眼し、結膜、虹彩および角膜を観察して眼粘膜の刺激性を観察します。単回投与のほか、頻回投与試験があります。

コンタクトレンズ着用時の眼粘膜刺激

ウサギを用います。コンタクトレンズ着用時における刺激性について確認します。コンタクトレンズを所定時間着用し、コンタクトレンズ除去後の眼粘膜の刺激性について観察します。

口腔粘膜刺激

モルモットを用います。歯肉に被験物質を30秒間軽く押しつける操作を、1日4回、2時間おきに、4日間連続して行い、その後の歯肉周辺の炎症反応について観察します。(歯磨き粉または口腔洗浄剤などの刺激性の確認によく使われます。)

静脈投与における血管刺激(注入法、貯留法)

ウサギを用います。耳介静脈を用いる従来の反復投与による貯留法に加えて、単回投与による注入法での血管刺激性評価が可能です。

静脈投与における血管周囲刺激

ウサギを用います。静脈内投与時に誤って皮下に漏れた場合を想定した血管周囲刺激の評価が可能です。

筋肉投与における筋肉の刺激

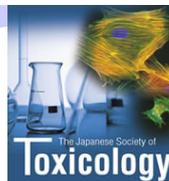
ウサギを用います。「注射剤の局所障害性に関する試験法改正案」に準じて、陽性対照物質である酢酸と局所障害の程度を比較検討します。

直腸粘膜の刺激

ウサギを用います。坐薬および軟膏剤を直腸内投与し、投与後約5時間後に直腸を摘出、肉眼的観察の後、病理組織学的検査にて局所障害性を検討します。

お知らせ:

第36回日本トキシコロジー学会学術年会
[2009年7月6(月)~8日(水):アイーナ
(岩手県民情報交流センター)]に於いて、
企業展示およびポスター発表をします。



『心の絆 - その21 -』

江戸中期の町人哲学者と言われた石田梅岩(1685~1744)は商いの心得としてこのように述べています。『我が身を養うに売り物を粗末にせず、真実にすれば、十のうち八までは売り先の心に叶うものなり。売り先の心に叶うように精を込めて勤めて商いをしていれば案ずることはなにもない。そして、儉約と正直を心がけることである。一升の水に一滴の油をたらせば、その水は捨てないといけぬ。不正の利益とはそのようなものである。』今、日本は百年に一度と言われる不況の大波に襲われています。とすると、結果や挽回を急ぐ余り、普段思いつかないような奇策や無理な対応を取りがちです。また法を破る人もでてきます。絶えず良い商品を心がけ、お客を大切に精一杯の汗をかき、どのような環境下にあっても人の心を打つ姿勢です。三百年前の言葉は現代にも生きています。



佐部利 典彦のアートギャラリー(21)

岐阜県出身(1969~)

作品解説

タイトル:「循環」

サイズ: 145cm×103cm

技法: 板にアクリル絵具

大宰府天満宮での制作のイメージの延長です。人間の体内の循環や、自然や命の循環について考えています。